

令和6年度スポーツ活動等普及奨励助成事業募集要項

(大学におけるスポーツ活動・文化活動振興への助成)

公益財団法人スポーツ安全協会

■助成の目的

我が国におけるスポーツ活動等（スポーツ活動、文化活動）の普及奨励を図ることを目的とする。

■助成対象者 大学（学校教育法第1条に定められた大学）

■助成対象事業及び助成金額

1. 助成対象事業

不特定多数の者の利益の増進に寄与することを主たる目的に実施する次の事業とする。

(1) 地域スポーツ・文化活動振興モデル拠点事業

大学が、国及び地方公共団体の政策等を踏まえ、単独又は地方公共団体及び関係機関等と連携・協力して、地域における各年齢層のスポーツ実施率の向上や文化活動への参加促進に資するモデル形成事業

【事業例】

大学が持つ専門知識や人財等を活用して、地域の様々な方々が、スポーツ活動や文化活動にいつでも誰でも気軽に参加（直接参加や観覧・鑑賞等の機会の提供等）しやすい環境づくり等

(参考)

●第3期スポーツ基本計画（抜粋）

【政策目標】

国民のスポーツ実施率を向上させ、日々の生活の中で一人一人がスポーツの価値を享受できる社会を構築する。

●第2期文化芸術推進基本計画（抜粋）

【中長期目標】文化芸術の創造・発展・継承と教育・参加機会の提供

文化芸術の創造・発展、次世代への継承が確実に行われ、全ての人々に充実した文化芸術教育と文化芸術活動の参加機会が提供されていることを目指す。

(2) 大学サークル活動等支援事業

大学生が、大学の各種公認サークル等において、安全にスポーツ活動、文化活動へ参加できる機会を提供する事業

【事業例】

大会や演奏会、交流試合（会）、研修会及び日常の練習等サークル活動全般に対する取組等

2. 助成金額及び助成期間

助成金額及び助成期間は、次のとおりとする。

(1) 地域スポーツ・文化活動振興モデル拠点事業（助成総額（予定）：1,000万円）

- ・1事業上限250万円／1年
- ・助成期間は、原則3年間（令和6年度から8年度）。
ただし、進捗状況等によっては途中で助成を終了する場合もある。

(2) 大学サークル活動等支援事業（助成総額（予定）：2,000万円）

- ・1事業上限70万円
- ・助成期間は、単年度（令和6年度）
- ・大学への機関助成とし、各サークルへの執行（配分）方法は、大学に一任する。
- ・原則として、一大学について連続3回までとする。（令和6年度から適用）

3. 対象経費

事業に要する経費（人件費、諸謝金、交通費、賃借料、消耗品費、雑役務費など）とし、助成期間内に使用した経費に限る。

なお、(1) 地域スポーツ・文化活動振興モデル拠点事業においては、申請額の範囲内で一般管理費（10%を上限）を計上することができる。

また、(2) 大学サークル活動等支援事業においては、サークル支援費などの費目で計上することも可とする。

ただし、(1) (2) 共に、次のような経費は対象外とする。

- ・懇親会、パーティ、飲食等の経費
- ・団体運営のための日常的経費（設備費、備品費（3万円以上）、給与等）

■応募方法

1. 応募方法

- ・申請を希望する団体は、最初にエントリーフォームにより申し込みをすること。
エントリーフォームのみでは正式な申請とならないので注意すること。
- ・エントリーフォームにより申し込み後、本会所定の別添助成金交付申請書をダウンロードし、必要事項を記入の上、下記形式にて保存。関係資料も同様。

（助成金交付申請書等の様式及び保存形式）

区 分	様式等名	形式
(1) 地域スポーツ・文化活動振興モデル拠点事業 (様式E-1)	・鏡（押印） ・事業計画書（別添①-A） ・事業予算書（別添②-A、B）	PDF Word Word
(関係資料)	・様式自由	PDF
(2) 大学サークル活動等支援事業	・鏡（押印）	PDF

(様式F-1)	・事業計画書(別添①-B) ・事業予算書(別添②-B)	Word Word
(関係資料)	・様式自由	PDF

- ・申請書及び関係資料は、本会宛(下段提出先)にメールにより提出すること。
(郵送不可)

- ・メールの題名:【団体名】R6「以下のいずれかの事業名を記入」申請

- ✓ 地域スポーツ等モデル事業
- ✓ 大学サークル活動事業

- 令和6年度事業の応募締め切りは、令和6年1月31日(水)必着
- 応募(申請)は、(1)及び(2)の事業について、それぞれ1大学1事業とする。
- (2)大学サークル活動等支援事業計画書の「スポーツ安全保険の周知」欄については、下記より選択して(複数選択可)具体的な内容を記載すること。

(例:①-ア・ウ、②-ア、③-イ)

項目	具体的な内容等
①学内広報	ア. 学生ポータルサイト等で紹介 イ. バナー広告の掲載 ウ. ポスターの掲示 エ. その他
②制度の紹介	ア. サークルの代表者を対象とした会議等で説明 イ. サークルの代表者を対象とした会議等で資料配布 ウ. 学生生活の手引き等で加入推奨 エ. その他
③加入確認	ア. 課外活動に関する規程等で「加入」について規定 イ. サークル活動計画書・報告書に「加入状況」欄を設置 ウ. その他
④その他	

■助成対象(事業実施)期間

各種事業の助成対象期間は、以下のとおりとする。

- (1)地域スポーツ・文化活動振興モデル拠点事業

令和6年4月1日から令和9年3月10日(3か年)までに実施される活動。

ただし、助成金額については、毎年度の申請書(中間報告書等)を審査の上、決定する。

- (2)大学サークル活動等支援事業

令和6年4月1日から令和7年3月10日までに実施される活動。

■選定方法

本会審査委員会で審査の上、決定する。

なお、助成金交付申請額は査定（減額）されることがある。

■採択基準

（１）地域スポーツ・文化活動振興モデル拠点事業

- 大学が拠点となりスポーツ活動、文化活動の推進に寄与することが期待できる事業であること。
- 事業への参加の機会が広く開かれて、不特定多数の利益の増進に寄与することを目的とした事業であること。
- 事業を実施するための専門的知識や実績などを有し、実施体制が構築されていること。
- 成果目標が明確であり、かつ成果目標の達成に向けた各年度の具体的な事業計画や予算計画が示され、事業の実現可能性が高いこと。
- 助成事業終了後も自立的な持続可能性が期待できること。
- 安全に実施するための配慮事項が明確であること。

（２）大学サークル活動等普及支援事業

- 大学生が多種多様な活動（スポーツ活動・文化活動）へ参加する機会の提供に寄与することが期待されること。
- 安全に実施するための配慮事項が明確であること。
- 安全の確保のため、スポーツ安全保険の効果的な周知に取り組んでいること。

■応募～助成期間終了まで

- 応募受付期間 : 令和5年12月20日（水）から令和6年1月31日（水）16時
- 助成の決定・通知 : 令和6年3月上旬以降
- 助成事業の開始 : 令和6年4月1日から
- 助成金の交付 : 令和6年4月中旬以降

■助成期間終了後

（１）地域スポーツ・文化活動振興モデル拠点事業

下記の手順により、令和6、7年度は中間報告書及び関係資料を提出すること。また、最終年度（令和8年度）の実績報告書の様式については、別途連絡する。

なお、中間報告の内容や今後の方針等について、ヒアリングを行うことがある。

①中間報告書

- ・ 中間報告書をダウンロードし、必要事項を記入の上、下記形式にて保存。

関係資料についても同様。ただし、必要が生じた場合は成果物等の提出を求められることがある。

（中間報告書等の様式及び保存形式）

区 分	内 訳	形式
中間報告書 (様式E-2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鏡 (押印) ・ 中間報告書 (別添③) ・ 中間決算書 (別添④) ・ 令和7年度事業計画書 (別添⑤) ・ 令和7年度事業予算書 (別添⑥) 	PDF Word Word Word
関係資料	開催要項、パンフレット、ポスター、看板、ホームページのバナー 等	PDF

・ 中間報告書及び関係資料は、本会宛（下段提出先）にメールにより提出すること（郵送不可）。

・ メール の 題 名 : 【大学名】 R 6 地域スポーツ等モデル事業中間報告

②報告書等の提出期限

(中間報告書等)

・ 令和6年度事業分：令和7年4月10日（厳守）

・ 令和7年度事業分：令和8年4月10日（厳守）

(実績報告書等)

・ 実績報告書 : 令和9年4月9日（厳守）

(2) 大学サークル活動等普及支援事業

下記の手順により、実績報告書及び関係書類を期限までに提出すること。

①実績報告書

・ 実績報告書をダウンロードし、必要事項を記入の上、下記形式で保存。

関係資料についても同様。ただし、必要が生じた場合は成果物等の提出を求められることがある。

(実績報告書等の様式及び保存形式)

区 分	内 訳	形式
実績報告書 (様式F-2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鏡 (押印) ・ 事業報告書 (別添⑦) ・ 事業決算書 (別添⑧) 	PDF Word Word
(関係資料)	開催要項、パンフレット、ポスター、看板、ホームページのバナー 等	PDF

・ 実績報告書及び関係資料は、本会宛（下段提出先）にメールにより提出すること（郵送不可）。

・ メール の 題 名 : 【大学名】 R 6 大学サークル活動事業実績報告

②報告書等の提出期限

事業終了後30日以内若しくは翌年度4月10日のいずれか早い日（厳守）

■留意事項

1. 申請書の返却及び審査の経緯や結果についての問合せは、受け付けない。
2. 次の事項に該当する場合、助成金の全額又は一部を返還しなければならない。
 - ① 対象事業を中止又は廃止した場合
 - ② 報告書の提出を怠った場合
 - ③ 提出書類に虚偽の記述を行った場合
 - ④ 決算で剰余金が生じた場合
 - ⑤ 下記3.の取り扱いを怠った場合
3. 助成対象に採択された事業は、以下のような方法により周知・広告等を行うこと。広告及びバナーについては、採択時に連絡する。
 - ・開催要項、看板、プログラム等には、『公益財団法人スポーツ安全協会スポーツ活動等普及奨励助成事業』の記載をすること。
 - ・大会等プログラムには、「スポーツ安全保険」の広告を掲出するとともに、大会等ホームページには「スポーツ安全保険」のバナーを貼付すること。
 - ・SNS等を活用した活動の広報を行うこと。
4. (2) 大学サークル活動等普及支援事業」の助成金の交付を受けることができるのは、原則として同一大学で連続3回までとする。(令和6年度から適用)
5. 参加者が安全・安心に参加できる状況で実施すること。その際、スポーツ安全保険を推奨するなど必要に応じて適切な保険に加入すること。
6. 事業の視察や調査、本助成に関するヒアリングを行う場合、あるいは、成果の普及、成果発表及び情報発信などについて、当協会から依頼や指示を受けた場合は、協力すること。

■個人情報の取扱い

1. 提出書類に記載の個人情報は、業務遂行上必要な範囲内で取扱う。
2. 助成決定団体、事業名及び助成金額を本会ホームページで公表する。

■関係書類提出

公益財団法人スポーツ安全協会 助成担当（根本）

郵 送：〒105-0003 東京都港区西新橋 1-6-11 西新橋光和ビル 8階

メール：josei@spoan.or.jp

電 話：080 (8025) 3002 （平日 10時～16時）

(様式E-1)

令和6年度スポーツ活動等普及奨励助成事業助成金交付申請書
(大学への助成)

(① 地域スポーツ・文化活動振興モデル拠点事業)

公益財団法人 スポーツ安全協会会長
会長 布村 幸彦 殿

令和 年 月 日

大学名：

代表者役職、氏名： 印

下記により「令和6年度スポーツ活動等普及奨励助成事業(大学への助成、①地域スポーツ・文化活動振興モデル拠点事業)」として助成金の交付を申請いたします。

記

1. 助成金交付申請額 : _____ 円 (令和6年度分申請額)
2. 事業計画書(別添①-A)、事業予算書(別添②-A)、関係資料

●本件についての実施責任者、担当者

所属(役職)	所属(役職)
実施責任者名	担当者名
住所	住所
電話	電話
E-mail	E-mail

別添①-A 事業計画書 (①地域スポーツ・文化活動振興モデル拠点事業)
 (大学への助成) 大学名: _____

事業名			
a. 事業の目的			
b. 地域におけるスポーツ・文化活動の状況・課題等			
c. 成果目標	(令和6年度を基準とした目標)		
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">数値目標</td> <td>(令和8年度末の目標値)</td> </tr> </table>	数値目標	(令和8年度末の目標値)	
数値目標	(令和8年度末の目標値)		
d. 実施体制 連携団体等を含む			
e. 事業実績等 (特記事項)	(本事業を実施するにあたり、実績としてPRできるもの等)		

〈注〉

- ・必要に応じて参考資料を添付してください。
- ・応募資料は返却いたしません。
- ・各様式共に記入欄が足りない場合は、複数ページになっても構いません。

別添②-A 事業予算書 (①地域スポーツ・文化活動振興モデル拠点事業)

(大学への助成)

大学名: _____

事業名	
-----	--

(収入の部)

単位: 円

科 目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	内 容
1. 助成金				(公財)スポーツ 安全協会助成金
2. 参加料				参加者負担金
3. 負担金				大学負担金 その他負担金
合 計				

※助成金は千円単位とする。(千円単位未満切捨て)

(支出の部)

単位: 円

年 度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
合 計			

〈注〉当該事業の全体予算額を記入すること。

別添②-B 令和6年度事業予算書

(① 地域スポーツ・文化活動振興モデル拠点事業)

(大学への助成)

大学名: _____

事業名	
-----	--

(収入の部)

単位: 円

科 目	金 額	内 容
1. 助成金		公益財団法人スポーツ安全協会助成金
2. 参加料		参加者負担金 @ 円× 名
3. 負担金		大学負担金 その他負担金
合 計		

※助成金は千円単位とする。(千円単位未満切捨て)

(支出の部)

単位: 円

科 目	金 額	内 容	備 考
合 計			

〈注〉

- ・当該事業の全体予算額を記入してください。
- ・収入合計と支出合計は一致させてください。
- ・助成金を充当する経費は、該当する内容欄の次の備考欄に「○」印を記入してください。

(様式E-2)

令和6年度スポーツ活動等普及奨励助成事業中間報告書
(大学への助成)
(①地域スポーツ・文化活動振興モデル拠点事業)

公益財団法人 スポーツ安全協会会長
会長 布村 幸彦 殿

令和 年 月 日

大学名：

代表者役職、氏名：

印

下記のとおり「令和6年度スポーツ活動等普及奨励助成事業(大学への助成、①地域スポーツ・文化活動振興モデル拠点事業)」について、今年度の中間報告をいたします。

記

1. 令和6年度中間報告
中間報告書(別添③)、中間決算書(別添④)、関係資料
2. 令和7年度事業計画
事業計画書(別添⑤)、事業予算書(別添⑥)、関係資料

●本件についての実施責任者、担当者

所属(役職)：

所属(役職)：

実施責任者名：

担当者名：

住所：

住所：

電話：

電話：

E-mail：

E-mail：

別添③ 令和6年度事業中間報告書

(① 地域スポーツ・文化活動振興モデル拠点事業)

(大学への助成)

大学名：__

事業名	
実施体制 連携団体等を含む	
成果目標に対する 検証(成果、自己評価)	
地域におけるスポーツ・文化活動の 状況・課題等	
具体的な事業内容 (実施日時・活動 内容・参加人数・会 場等、成果) (事業参加者のう ちスポーツ安全保 険加入数)	(実施日時・回数(平日、土日)) (活動内容) (参加人数) (会場) (成果) (スポーツ安全保険加入者数)
事業の周知及び広 告等(留意事項3)	
安全に実施するた めの配慮事項	
今後に向けた計画 概要	(令和7年度) (令和8年度)

〈注〉

- ・各様式共に記入欄が足りない場合は、複数ページになっても構いません。

別添④ 令和6年度事業中間決算書

(① 地域スポーツ・文化活動振興モデル拠点事業)

(大学への助成)

大学名: _____

事業名	
-----	--

(収入の部)

単位: 円

科 目	金 額	内 容
1. 助成金		公益財団法人 スポーツ安全協会助成金
2. 参加料		参加者負担金 @ 円× 名
3. 負担金		大学負担金 その他負担金
合 計		

※助成金は千円単位とする。(千円単位未満切捨て)

(支出の部)

単位: 円

科 目	金 額	内 容	備 考
合 計			
繰越金			

〈注〉

- ・当該事業の全体決算額を記入してください。
- ・助成金について、上記支出科目の内容欄の次の備考欄に「○」印を記入してください。
- ・収入合計と支出合計は一致させてください。
- ・使途が証明できる請求書、領収書等は、各団体で保管してください。必要に応じて提出を求め、確認します。

別添⑤ 令和7年度事業計画書

(①地域スポーツ・文化活動振興モデル拠点事業)

(大学への助成)

大学名：_____

事業名	
事業の目的 (事業概要)	
地域におけるスポーツ・文化活動の 状況・課題等	
実施体制 連携団体等を含む	
具体的な事業内容 (実施日時・活動 内容・参加人数・会 場等)	<p>(実施日時・回数 (平日、土日))</p> <p>(活動内容)</p> <p>(参加人数)</p> <p>(会場)</p>
安全に実施するた めの配慮事項	

〈注〉

- ・各様式共に記入欄が足りない場合は、複数ページになっても構いません。
- ・必要に応じて参考資料を添付してください。

別添⑥ 令和7年度事業予算書

(①地域スポーツ・文化活動振興モデル拠点事業)

(大学への助成)

大学名：_____

事業名	
-----	--

(収入の部)

単位：円

科 目	金 額	内 容
1. 助成金		公益財団法人スポーツ安全協会助成金
2. 参加料		参加者負担金 @ 円× 名
3. 負担金		大学負担金 その他負担金
合 計		

※助成金は千円単位とする。(千円単位未満切捨て)

(支出の部)

単位：円

科 目	金 額	内 容	備 考
合 計			

〈注〉

- ・当該事業の全体予算額を記入してください。
- ・収入合計と支出合計は一致させてください。
- ・助成金を充当する経費は、該当する内容欄の次の備考欄に「○」印を記入してください。

(様式F-1)

令和6年度スポーツ活動等普及奨励助成事業助成金交付申請書
(大学への助成)
(②大学サークル活動等普及支援事業)

公益財団法人 スポーツ安全協会会長
会長 布村 幸彦 殿

令和 年 月 日

大学名：

代表者役職、氏名：

印

下記により「令和6年度スポーツ活動等普及奨励助成事業(大学への助成、②大学サークル活動等支援事業)」として助成金の交付を申請いたします。

記

1. 助成金交付申請額 : _____ 円
2. 事業計画書(別添①-B)、事業予算書(別添②-B)、関係資料

●本件についての実施責任者、担当者

所属(役職)： _____ 所属(役職)： _____

実施責任者名： _____ 担当者名： _____

住 所： _____ 住 所： _____

電 話： _____ 電 話： _____

E-mail： _____ E-mail： _____

別添①-B 令和6年度事業計画書 (②大学サークル活動等支援事業)
 (大学への助成) 大学名: _____

事業名	
事業の目的 (事業概要)	
サークル活動の 状況、課題	(サークル数 (体育会系、文化系)、部員数等)
サークルへの支 援状況	
助成金の使途計 画	(サークル助成の計画等)
サークル活動を 安全に実施する ための配慮事項	
スポーツ安全保 険の周知	(募集要項の「■応募方法」で例示している中からものから選択 (複数可) して、具体的内容等 (日時、方法等) を記載してください)

〈注〉

- ・開催要項やパンフレット等活動内容が分かるものを添付してください。
- ・応募資料は返却いたしません。
- ・各様式共に記入欄が足りない場合は、複数ページになっても構いません。

別添②-B 令和6年度事業予算書 (②大学サークル活動等支援事業)

(大学への助成)

大学名: _____

事業名	
-----	--

(収入の部)

単位: 円

科 目	金 額	内 容
1. 助成金		公益財団法人スポーツ安全協会助成金
2. 負担金		大学負担金
3.		(〇〇助成金)
合 計		

※助成金は千円単位とする。(千円単位未満切捨て)

(支出の部)

単位: 円

科 目	金 額	内 容	備 考
合 計			

〈注〉

- ・当該事業の全体予算額を記入してください。
- ・収入合計と支出合計は一致させてください。
- ・助成金を充当する経費は、該当する内容欄の次の備考欄に「〇」印を記入してください。

(様式F-2)

令和6年度スポーツ活動等普及奨励助成事業実績報告書
(大学への助成)
(②大学サークル活動等支援事業)

公益財団法人 スポーツ安全協会会長
会長 布村 幸彦 殿

令和 年 月 日

大学名：

代表者役職、氏名：

印

下記のとおり「令和6年度スポーツ活動等普及奨励助成事業（大学への助成、②大学サークル活動等支援事業）」を実施したので報告いたします。

記

- 令和6年度事業報告
事業報告書（別添⑦）、事業決算書（別添⑧）、関係資料

●本件についての実施責任者、担当者

所属（役職）： _____ 所属（役職）： _____

実施責任者名： _____ 担当者名： _____

住 所： _____ 住 所： _____

電 話： _____ 電 話： _____

E-mail： _____ E-mail： _____

別添⑦ 令和6年度事業報告書（②大学サークル活動等支援事業）

（大学への助成）

大学名：_____

事業名	
事業の目的 （事業概要）	
事業の取り組み （助成金の執行）	（助成金の使途について、具体的な内容を記載してください。）
事業実施の成果	
サークル活動を安全に実施するための配慮事項	
スポーツ安全保険の周知	
スポーツ安全保険加入状況	
事業の周知及び広告等（留意事項3）	

〈注〉

- ・各様式共に記入欄が足りない場合は、複数ページになっても構いません。

別添⑧ 令和6年度事業決算書 (②大学サークル活動等支援事業)

(大学への助成)

大学名: _____

事業名	
-----	--

(収入の部)

単位: 円

科 目	金 額	内 容
1. 助成金		公益財団法人 スポーツ安全協会助成金
2. 負担金		大学負担
3.		(〇〇助成金)
合 計		

※助成金は千円単位とする。(千円単位未満切捨て)

(支出の部)

単位: 円

科 目	金 額	内 容	備考
合 計			

〈注〉

- ・当該事業の全体決算額を記入してください。
- ・助成金について、上記支出科目の内容欄の次の備考欄に「〇」印を記入してください。
- ・収入合計と支出合計は一致させてください。
- ・使途が証明できる請求書、領収書等は、各団体で保管してください。必要に応じて提出を求め、確認します。